

第3回 大和郡山市学校規模適正化等審議会 次第

1. 日時

平成30年11月20日（火） 午後1時開会

2. 場所

200会議室（市役所2階）

3. 案件

（1）学校の視察

- ①治道小学校
- ②郡山東中学校

（2）その他

4. タイムスケジュール

13:00	200会議室
13:40～14:40	治道小学校
15:00～16:00	郡山東中学校
終了後	市役所玄関着 解散

学校の適正規模・適正配置に関する アンケート調査について

学校長の皆様には、日頃より本市の教育にご尽力いただき、ありがとうございます。

近年、全国的な少子化の進展に伴う学校の小規模化に伴い、教育上・学校運営上の様々な課題が指摘されております。本市においても児童生徒数は減少傾向にあります。こうした問題を受け、大和郡山市では、児童生徒にとって望ましい教育環境の確保と少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて、大和郡山市学校規模適正化等審議会を設置し、学校の適正な規模や配置等について調査審議をすすめております。

このアンケート調査は、日頃から教育に携わる皆様にご意見をお伺いし、「子どもたちのより良い教育環境づくり」を検討するために、実施させていただくものです。

大変お忙しい中、恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

学校名	《学校名》		
校長名	《校長名》	電話番号（連絡先）	《電話番号》

※ご記入にあたっての注意事項

1. 項目に関連する資料がございましたら、添付をお願いいたします。
2. 数値等を記入される場合は「いつ」、「どの資料から」ということをご記入ください。
3. 【問16】は中学校のみ
それ以外の問は、小学校・中学校の現職に関わらず、全ての設問にご回答下さい。
4. ご記入いただいた調査票は、**9月28日（金）までに**下記までご提出ください。

○お問い合わせ先
大和郡山市学校規模適正化等審議会事務局 教育総務課 総務係
電話：0743-53-1151（内713）

問1 自身が勤務する学校（以下「自校」という）の学年ごとの1学級あたりの児童生徒数（複数学級の場合は平均、端数切捨て）をご記入下さい。

(H30.9.1 現在)

1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	特別支援学級
()	()	()	()	()	()	()

問2 自校の1学級あたりの児童生徒数について、①教育活動（授業、行事など）、教育効果（児童生徒の成長、能力発達など）②教育環境（施設、設備、教職員数など）の面から、それぞれどのように感じておられますか？（一つに○）。

①教育活動（授業、行事など）、教育効果（児童生徒の成長、能力発達など）

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 適正規模である | 2. 適正規模ではない |
| 3. どちらとも言えない（学年によって状況が異なるため など） | |

②教育環境（施設、設備、教職員数など）

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 適正規模である | 2. 適正規模ではない |
| 3. どちらとも言えない（学年によって状況が異なるため など） | |

問3 問2の回答に対し、それを選択された理由を、①②それぞれについて、ご記入下さい（問2で「3. どちらとも言えない」を選択された場合も、記入願います）。

①教育活動（授業、行事など）、教育効果（児童生徒の成長、能力発達など）

②教育環境（施設、設備、教職員数など）

問4 自校の学年ごとの学級数（同意数）をご記入下さい。

(H30.9.1 現在)

1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	小計	特別支援学級	合計
()	()	()	()	()	()	()	()	()

問5 自校の1学年あたりの学級数について、①教育活動（授業、行事など）、教育効果（児童生徒の成長、能力発達など）②教育環境（施設、設備、教職員数など）の面から、それぞれどのように感じておられますか？（一つに〇）

①教育活動（授業、行事など）、教育効果（児童生徒の成長、能力発達など）

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 適正規模である | 2. 適正規模ではない |
| 3. どちらとも言えない（学年によって状況が異なるため など） | |

②教育環境（施設、設備、教職員数など）

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 1. 適正規模である | 2. 適正規模ではない |
| 3. どちらとも言えない（学年によって状況が異なるため など） | |

問6 問5の回答に対し、それを選択された理由を①②それぞれについて、ご記入下さい（問5で「3. どちらとも言えない」を選択された場合も、記入願います）。

①教育活動（授業、行事など）、教育効果（児童生徒の成長、能力発達など）

②教育環境（施設、設備、教職員数など）

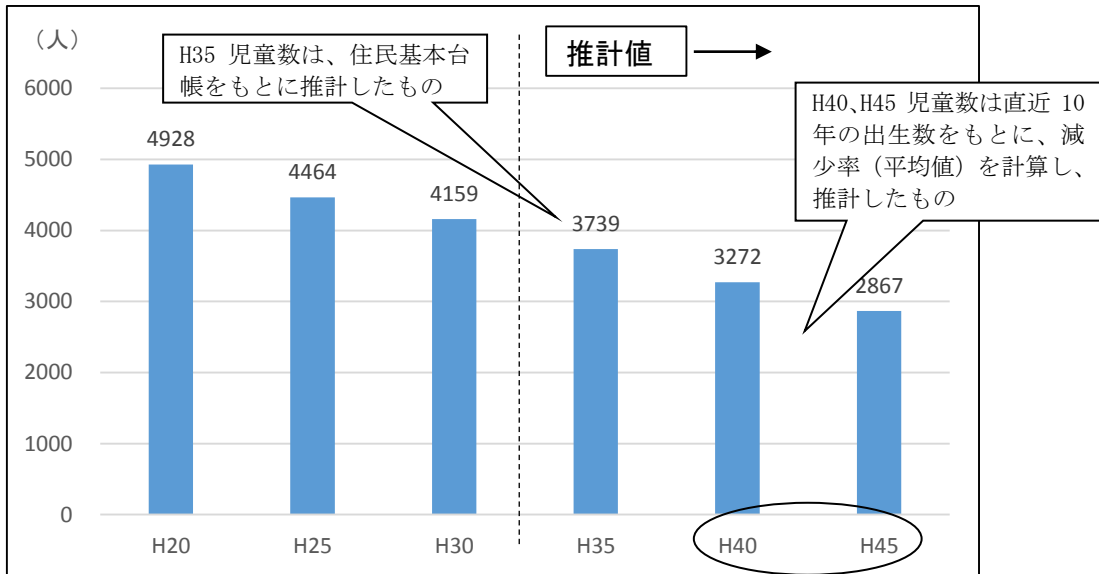
小学校児童数の現状と推移について

《参 考》

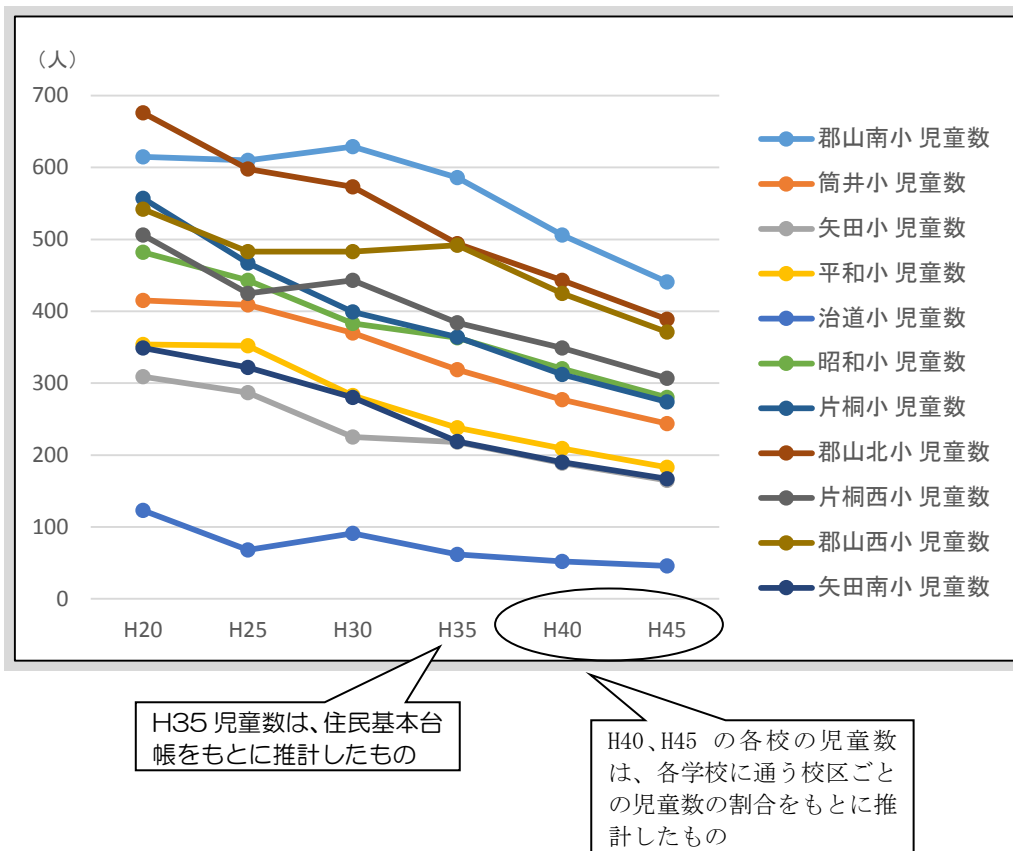
■小学校別学年別児童数、学級数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	特別支援学級	合計
郡山南小	児童数	101	87	108	108	91	114	609	20	629
	学級数	3	3	3	3	3	4	19	4	23
筒井小	児童数	55	49	69	68	61	56	358	12	370
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	4	16
矢田小	児童数	31	28	37	38	45	43	222	3	225
	学級数	1	1	1	2	2	2	9	2	11
平和小	児童数	37	46	36	50	47	57	273	10	283
	学級数	2	2	1	2	2	2	11	2	13
治道小	児童数	11	22	13	11	9	20	86	5	91
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	7
昭和小	児童数	65	51	62	65	68	50	361	22	383
	学級数	3	2	2	2	3	2	14	5	19
片桐小	児童数	58	66	58	61	65	72	380	19	399
	学級数	2	2	2	2	3	3	14	4	18
郡山北小	児童数	94	105	85	85	90	94	553	20	573
	学級数	3	4	3	3	3	3	19	4	23
片桐西小	児童数	55	73	67	77	73	80	425	18	443
	学級数	2	3	3	3	3	3	17	3	20
郡山西小	児童数	94	72	78	68	84	71	467	16	483
	学級数	3	3	3	3	3	3	18	4	22
矢田南小	児童数	38	33	52	44	51	55	273	7	280
	学級数	2	1	2	2	2	2	11	2	13

■ 小学校児童数の推移（全体）



■ 小学校児童数の推移（学校別）



※治道小学校は、H24～小規模特認校に指定。H35以降の児童数は、校区内の児童数のみを推計したもの

問7 1学級あたりの児童数は何人程度が望ましいと思いますか。(一つに〇)

1. 10人以下	2. 11～20人	3. 21人～30人
4. 31～40人		

問8 問7の「小学校1学級あたりの望ましい児童数」を選んだ理由として、以下の各項目について、どのように考えられていますか。(①～⑩それぞれ一つに〇)

	重視する	やや重視する	あまり重視しない	重視しない
① 学級内で、互いに切磋琢磨できる環境が作れる	1	2	3	4
② 先生が目が一人ひとりに行き届く	1	2	3	4
③ 集団内において様々な役割分担を経験できる	1	2	3	4
④ 学級内の絆が強まる	1	2	3	4
⑤ 社会性や協調性を育む機会に恵まれる	1	2	3	4
⑥ 児童一人ひとりに対して丁寧な指導が期待できる	1	2	3	4
⑦ 学校行事や学習等において、多様な教育活動ができる	1	2	3	4
⑧ 学級内の人間関係に変化がもてる	1	2	3	4
⑨ 施設・設備を余裕をもって利用することができる	1	2	3	4
⑩ その他 []	1	2	3	4

問9 1学年あたりの学級数は、どの程度が望ましいと思いますか。(一つに○)

1. 1学級	2. 2～3学級
3. 4学級～6学級	4. その他
()	

問10 問9の「小学校1学年あたりの望ましい学級数」を選んだ理由として、以下の各項目について、どのように考えられていますか。(①～⑩それぞれ一つに○)

	重視する	やや重視する	あまり重視しない	重視しない
① 学級同士が切磋琢磨できる環境が作れる	1	2	3	4
② 異学年間の縦の交流が生まれやすい	1	2	3	4
③ 学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる	1	2	3	4
④ 児童一人ひとりに対して丁寧な指導が期待できる	1	2	3	4
⑤ 同じ児童とずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	1	2	3	4
⑥ 様々な個性や考え方をもち友達とふれあえる	1	2	3	4
⑦ ゆとりのある教育が受けられる	1	2	3	4
⑧ クラス替えがあり、人間関係に変化がもてる	1	2	3	4
⑨ 学校行事での活躍の場が多くある	1	2	3	4
⑩ その他 []	1	2	3	4

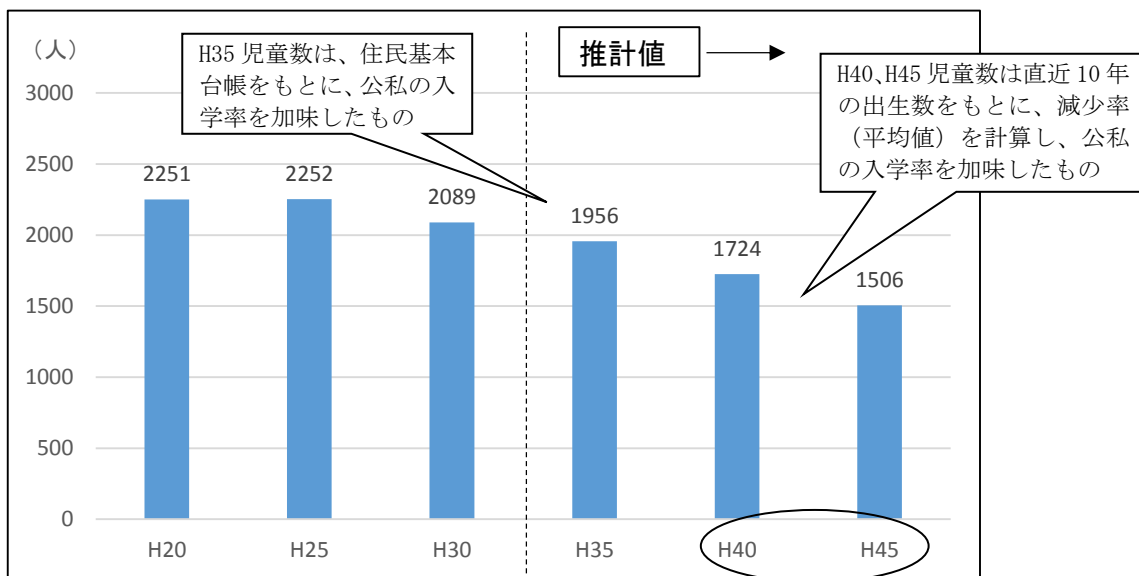
中学校生徒数の現状と推移について

《参 考》

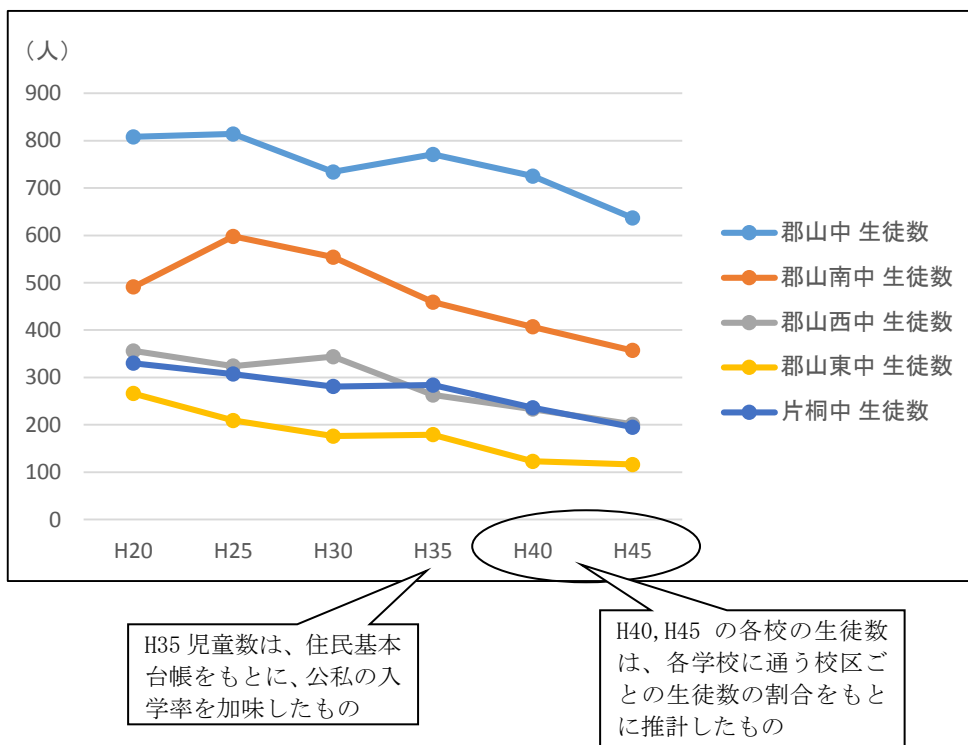
■中学校別学年別生徒数、学級数（平成 30 年 5 月 1 日現在）

		1	2	3	小計	特別支援学級	計
郡山中	児童数	230	242	248	720	14	734
	学級数	7	7	7	21	3	24
郡山南中	児童数	167	178	192	537	17	554
	学級数	5	6	6	17	5	22
郡山西中	児童数	105	109	122	336	8	344
	学級数	4	4	4	12	3	15
郡山東中	児童数	55	54	64	173	3	176
	学級数	2	2	2	6	2	8
片桐中	児童数	90	90	91	271	10	281
	学級数	3	3	3	9	4	13

■中学校生徒数の推移（全体）



■中学校生徒数の推移（学校別）



問11 1学級あたりの生徒数は何人程度が望ましいと思いますか。(一つに○)

1. 10人以下	2. 11～20人	3. 21人～30人
4. 31～40人		

問12 問11の「中学校1学級あたりの望ましい生徒数」を選んだ理由として、以下の各項目について、どのように考えられていますか。(①～⑩それぞれ一つに○)

	重視する	やや重視する	あまり重視しない	重視しない
① 学級内で、互いに切磋琢磨できる環境が作れる	1	2	3	4
② 先生が目が一一人ひとりに行き届く	1	2	3	4
③ 集団内において様々な役割分担を経験できる	1	2	3	4
④ 学級内の絆が強まる	1	2	3	4
⑤ 社会性や協調性を育む機会に恵まれる	1	2	3	4
⑥ 生徒一人ひとりに対して丁寧な指導が期待できる	1	2	3	4
⑦ 学校行事や学習等において、多様な教育活動ができる	1	2	3	4
⑧ 学級内の人間関係に変化がもてる	1	2	3	4
⑨ 施設・設備を余裕をもって利用することができる	1	2	3	4
⑩ その他 []	1	2	3	4

問13 1学年あたりの学級数は、どの程度が望ましいと思いますか。(一つに○)

1. 1学級	2. 2～3学級	3. 4～6学級
4. その他		

問14 問13の「中学校1学年あたりの望ましい学級数」を選んだ理由として、以下の各項目について、どのように考えられていますか。(①～⑪それぞれ一つに○)

	重視する	やや重視する	あまり重視しない	重視しない
① 学級同士が切磋琢磨できる環境が作れる	1	2	3	4
② 異学年間の縦の交流が生まれやすい	1	2	3	4
③ 学校全体に活気があり、学校行事が盛大にできる	1	2	3	4
④ 生徒一人ひとりに対して丁寧な指導が期待できる	1	2	3	4
⑤ 同じ生徒とずっと同じ学級で過ごせ、お互いの人間関係が深まる	1	2	3	4
⑥ 様々な個性や考え方をもち友達とふれあえる	1	2	3	4
⑦ ゆとりのある教育が受けられる	1	2	3	4
⑧ クラス替えがあり、人間関係に変化がもてる	1	2	3	4
⑨ 部活動の選択の幅が広がる	1	2	3	4
⑩ 学校行事での活躍の場が多くある	1	2	3	4
⑪ その他 []	1	2	3	4

通学距離と時間について

問15 自校へ最も遠い場所から通う児童生徒のおよその通学距離及び通学時間をご記入下さい。

通学距離（ ）km 通学時間（ ）分

問16 自校へ徒歩及び自転車で通う生徒の割合をご記入下さい。

（この問いについては、中学校のみご回答下さい）

徒歩（ ）% 自転車（ ）%

問17 小学生と中学生の通学距離（通学時間）は、どの程度までならよいと思いますか。（小学生・中学生それぞれ①～⑧のうち一つに○）

※小学生・中学生両方の欄に○をお願いします。

	小学生	中学生
① 500m（徒歩で約10分）まで		
② 1.0km（徒歩で約20分）まで		
③ 1.5km（徒歩で約30分）まで		
④ 2.0km（徒歩で約40分、自転車で約15分）まで		
⑤ 3.0km（徒歩で約60分、自転車で約20分）まで		
⑥ 4.0km（徒歩で約80分、自転車で約25分）まで		
⑦ 5.0km（徒歩で約90分、自転車で約30分）まで		
⑧ 6.0km（徒歩で約100分、自転車で約40分）まで		

《参 考》

◆国の基準（昭和33年、文部科学省が学校規模の標準等を設定）

通学距離：小学校でおおむね4km以内、中学校でおおむね6km以内

地域と学校の関わりについて

問18 学校は、地域においてどのような役割を果たしていると思いますか。

(①～⑧それぞれ一つに○)

	そう 思う	ややそ う思う	あまりそう 思わない	そう思 わない
① 避難場所や防災器具・食料備蓄など防災の場	1	2	3	4
② 空き教室利用など地域住民のコミュニティ活動 や住民の場	1	2	3	4
③ 校庭や体育館の開放によるスポーツ活動の場	1	2	3	4
④ 運動会やお祭など地域のコミュニケーションの場	1	2	3	4
⑤ 児童生徒と地域住民が交流する場	1	2	3	4
⑥ 地域の伝統・歴史文化を継承し地域のシンボル となる場	1	2	3	4
⑦ 児童生徒の放課後の活動の場 (放課後子ども教室・学童保育所等)	1	2	3	4
⑧ その他 ()	1	2	3	4

教育環境の課題について

問 19 今後、さらに児童生徒数が少なくなることが想定されます。これからの大和郡山市における活力ある学校づくりに向けて、どのように検討を進めていくことがよいと思いますか。(①～⑤それぞれ一つに○)

	そう 思う	ややそ う思う	あまりそう 思わない	そう思 わない
① 児童生徒数や学級数について学校間で差が生じても、現在の学校数のままでよい	1	2	3	4
② 通学区域を見直して、適正な児童生徒数を確保する	1	2	3	4
③ 学校を統合し、適正な児童生徒数を確保する	1	2	3	4
④ 小中一貫校、義務教育学校を設置する	1	2	3	4
⑤ その他 ()	1	2	3	4

問 20 大和郡山市の学校の適正規模・適正配置について、自由に意見をご記入下さい。

問 21 大和郡山市の教育において、将来どのような児童生徒の育成を目指し、力を入れていくべきかと思いませんか。

ご協力ありがとうございました。

1) 職員数が少ないことによる学校運営について

① 職員1人当たりの校務負担、行事負担の確認について

治道小学校

	校長	教頭	A	B	C	D	E	F	G
授業			担任	担任	担任	担任	担任	担任	特別支援
クラブ									
校務分掌			研究主任	体育副主任	教務副主任	体育副主任	芝生管理活用推進	体育主任	教務主任
			幼小連携主任 書写 委員会	給食主任 生活・体育・メディア	校内初任者指導 生徒指導主任 国語・キャリア	社会・体育 校外生徒指導	小中連携外国語 森林環境教育主任 家庭・外国語・環境 代表委員会	算数 体育・特活・メディア・図書館 代表委員会・児童集会・拾得物	保健主事 特支教育コーディネーター 理科・総合・特支

	H	I	J						
授業	特別支援	音楽・図工専科	養護						
クラブ									
校務分掌	研究副主任	教務副主任	教育相談コーディネーター						
	人権推進主任 道徳教育推進 道徳・特支・統計	学校HP担当 音楽・図工・安全 児童集会	幼小連携副主任 健康・養護						

② 良い面と悪い面

校内の校務分掌に加え、市教育研修会のそれぞれの部会に所属する必要があるため、一人がいくつもの分掌を担って負担が大きい。

③ その他

2) 治道小学校の児童数の推移

※H24～小規模特認校

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
児童数	82	70	68(3)	67(4)	66(2)	68(4)	86(2)	91(2)
学級数	6	6	6	5	5	6	6	6

※()はうち、校区外から通う児童数

小学校・中学校

治道小学校で学びませんか！～小規模特認校 平成31年度児童募集～

治道小学校は、平成24年4月1日から「小規模特認校」として、通学区域外の児童を一定条件のもと受け入れています。

小さな学校に、大きな感動
治道小学校で学びませんか！

| [小規模特認校とは・治道小学校の特徴・位置](#) |
| [平成30年度児童募集について](#) | [学校見学会のご案内](#) |
| [お問い合わせ先](#) |



小規模特認校制度とは？

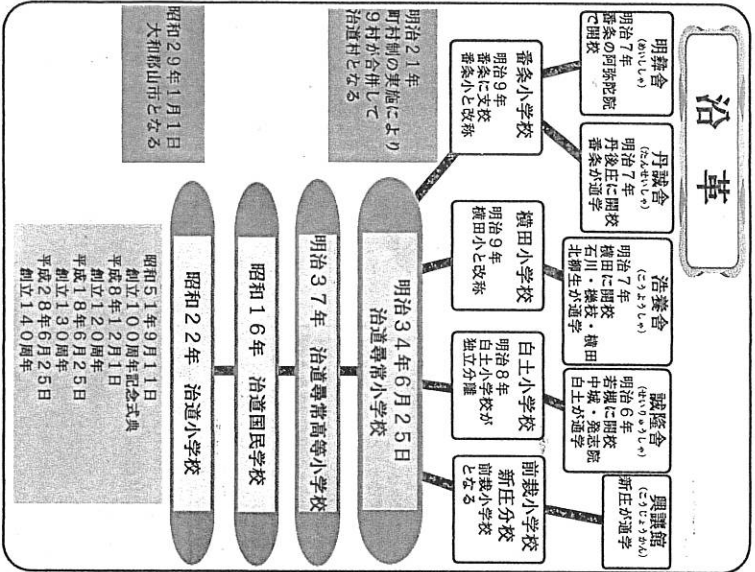
少ない人数で確かな学力をつけさせたい、豊かな自然環境に恵まれた学校で学ばせたいという保護者の希望がある場合、一定の条件のもと、特別に従来の学区を越えて、治道小学校に入学転学できる制度です。

治道小学校

大和郡山市横田町254・電話0743-56-3087

全校児童：91人(平成30年5月1日現在)

沿革



委員会活動

今年度は 5・6年

給食	健康	放送集会	図書揭示
----	----	------	------

クラブ活動

今年度は 4～6年

チェンソックス	バレー	バドミントン	百人一首
サ	バドミントン	バドミントン	カルタ

分団会

機枝	横田	新庄	伊豆七条	白土	石川
白土	発志院	中城	番条	市内	

平成30年度 治道小学校 主な年間行事予定

4月

- 6日(金) 始業式
- 11日(水) 入学式
- 12日(木) 遠足(機枝・新庄)
- 15日(日) 遠足(市内)
- 17日(水) 合唱コンクール(学年別)
- 25日(水)～27日(金) 運動会(6年)

5月

- 2日(金) 合唱コンクール
- 10日(木) 合唱コンクール
- 17日(水) 遠足(市内)
- 18日(木) 合唱コンクール
- 22日(月) 運動会(1・2・3・4年)
- 23日(火) 運動会(5年)
- 24日(水) 運動会(6年)

6月

- 1日(月) 運動会(1・2・3・4年)
- 16日(火) 合唱コンクール
- 21日(日)～22日(月) 修学旅行(6年)
- 23日(火) 運動会(6年)

7月

- 13日(金) 個人懇談
- 17日(火) 合唱コンクール
- 18日(水) 始業式
- 20日(金) 市役所上り記念会
- 24日(火) 合唱コンクール
- 31日(火) 市役所上り記念会

8月

- 3日(金) 市役所上り記念会
- 8日(水) 合唱コンクール
- 26日(日) 運動会(1・2・3・4年)
- 27日(月) 運動会(5年)

9月

- 3日(月) 始業式
- 5日(水) 合唱コンクール
- 6日(木) 修学旅行(5年)
- 22日(日) PTA会
- 29日(土) 運動会

10月

- 1日(月) 運動会(1・2・3・4年)
- 16日(火) 合唱コンクール
- 21日(日)～22日(月) 修学旅行(6年)
- 23日(火) 運動会(6年)

11月

- 10日(土) 運動会
- 12日(月) 運動会(1・2・3・4年)
- 13日(火) 合唱コンクール
- 16日(金) 市営祭典
- 29日(木) マラソン大会

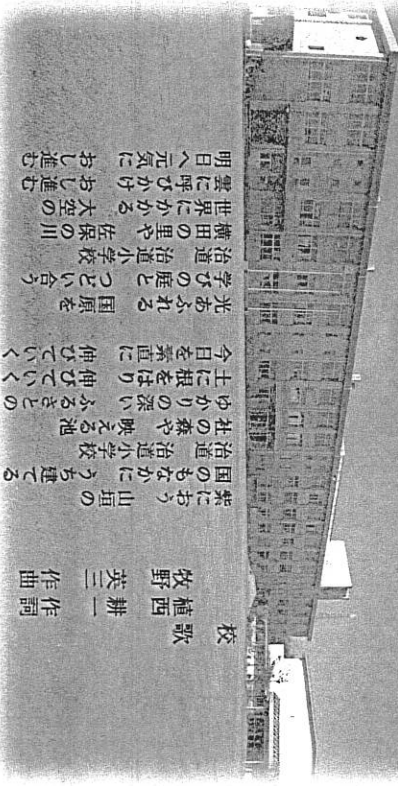
12月

- 17日(日)～19日(水) 個人懇談
- 18日(火) 合唱コンクール
- 21日(金) 修学旅行

平成30年度

学校要覧

ふるさとの土に根をはり、今日を素直に生きていく ほんがちっ子
 自分に自信をもって自立的に生きる ほんがちっ子



築におう 山垣の
 国のもなかにうら建てる
 治道小学校
 社の森や 映える池
 ゆかりの深いふるさとの
 土に根をはり伸びていく
 今日を素直に伸びていく
 光あふれる 国原を
 学びの庭とつどい合う
 治道小学校
 横田の里や 佐保の川
 世界にかける 大空の川
 明日へ元氣に おし進む
 雲に呼びかける おし進む

校歌 牧野 植西
 作詞 英三 作曲 英三

郵便番号	〒639-1115
所在地	大和郡山市横田町254番地
電話	0743(56)3087
FAX	0743(56)0676
学校HP	http://yamatokoriyama-es.minoza.jp/harumit/
学校長	藤 本 好 信
職員数	21名
児童数	92名 (男子53名 女子39名)

学年	児童数
1年	12人
2年	23人
3年	14人
4年	13人
5年	10人
6年	20人

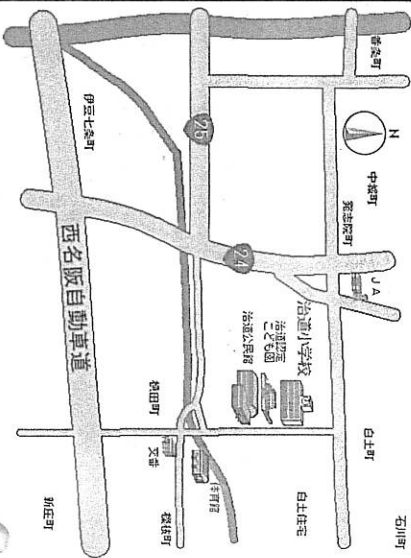
※平成30年5月1日現在

大和郡山市立治道小学校

学校紹介

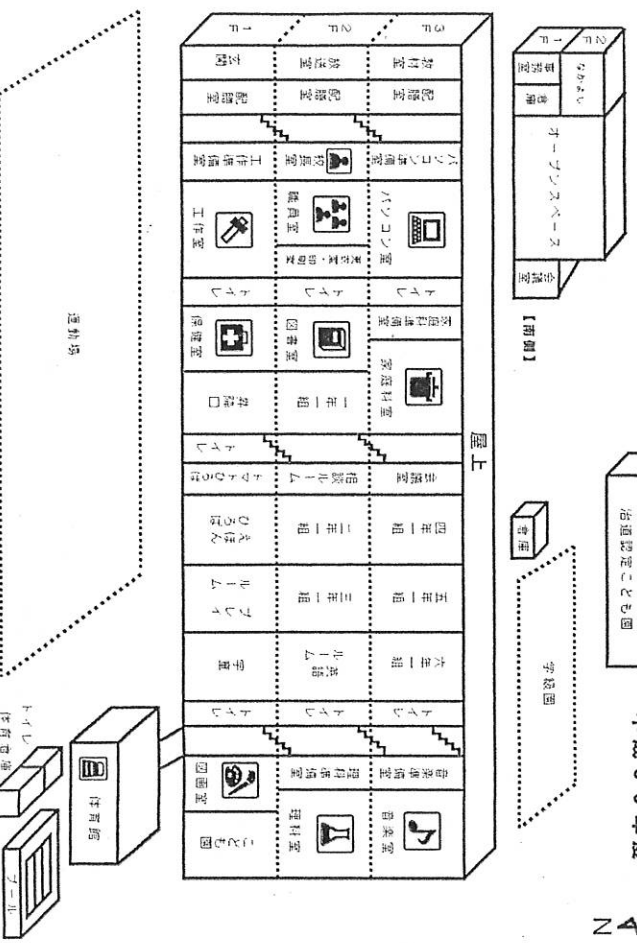
「緑のじゅうたんをきつめたような大和平野にぼつんと建っている治道小学校の学び舎」といわれては、奈良道路が整備され、国道沿いには大型量販店や流通、食品関係の業種も進出してきています。保護者の就業形態も専業農家が少なくなり、多くは兼業化、サラリーマン化が進んでいる。現在、児童数は九十一名各学年一級の小規模校で、家族的な雰囲気を残した教育環境にある。小規模特認校として、今年度は通学区外から十五名の児童が通学している。また、隣接する治道認定こども園との交流・校庭の芝生化による体力の向上・ICTの効果的な活用・A・I・Tや小中連携での郡山東中学校英語教員による英語活動の充実など、様々な特色ある教育活動を展開している。

地図



位置 北緯 34° 37' 42" 東経 135° 48' 23"
 海拔 50m 校区面積 5.8km²

< 治道小学校 校舎配置図 >



大和郡山市立治道小学校

小規模特認校

教育目標
 「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心身」を育み、
 自分に自信をもって自立的に生きる力の育成をめざす。

めざす子ども像(人間力の育成)

- は** げまし合う子
- い** ールを守る子
- み** んなど協力する子
- ち** えを動かせる子

- ・おぼろ強くなり、友に満ちた子ども
- ・相手を思いやる心のある子ども
- ・自分に自信をもてる子ども
- ・基本的な生活習慣を身に付けた子ども
- ・あいさつがきちんとできる子ども
- ・正しく判断して行動できる子ども
- ・積極的に取り組める子ども
- ・互いに役立つ考えを伝え合える子ども
- ・互いに思いやる心を伝える子ども
- ・活力ある生活を営むことのできる子ども
- ・何事にも意欲的にかわかれる子ども
- ・まわりの自然や社会、生活のことから気づきを受けとめられる子ども

PDCAサイクルの活用

校種間での多様な連携・協力体制を構築し、
 確かな学力を育む教育を展開する学校

治道小学校 いじめ防止 基本方針

いじめアンケート(毎月)
 いじめアンケート(毎学期)

縦割り班活動

全校遠足
 避難学習(避難所体験)等

めざす学校像(学力の向上)



ALTYや郡山東中学校英語教員と
 連年の外国語活動
 認定こども園との交流(1のちの学習)
 英語習得
 公民館のアラビヤの世代間交流
 安全・安心のための
 見守りボランティア
 校外での運動の習慣化(運動場の芝生化)
 各教室に簡易電子黒板・インターネット接続
 地域の教育力を生かし、環境
 のおかげで、温かく子どもを
 見守る心の通い合える学校

安心・安全な学校

- ・年4回の避難訓練
- ・交通安全教室
- ・防犯教室
- ・校内安全点検
- ・登下校見守りボランティア

めざす教職員像(教師力の向上)

- ふるさとの土に根を張り、今日を素直に生きていく
 自分に自信をもって自立的に生きる 是るが子ども
- 一人1回の授業公開 ネット指導
 簡易電子黒板やインターネットの効果的な活用
 基礎学力向上の取組 年間指導計画作成
- 学校からの発信
 (校長室だより「はるみち通信」)
 (ホームページ「ネット日記」)
 (保健室だより「食育だより」)
 (学年だより「学級通信」)
 ・授業参観・懇談・学校行事に参加
 ・学校評価
 ・学校評議員

開かれたい学校づくり

- ・学校からの発信
 (校長室だより「はるみち通信」)
 (ホームページ「ネット日記」)
 (保健室だより「食育だより」)
 (学年だより「学級通信」)
 ・授業参観・懇談・学校行事に参加
 ・学校評価
 ・学校評議員

研究主題
 「言語活動の充実とともに」
 ～〈主体的・対話的で深い学び〉
 を実現するために～

めざす学校像の実現のため
 互いに尊敬し協働できる教職員

人権教育を推進する教職員
 いじめや不登校などの課題解決に
 取り組む、子どもに寄り添う
 実践力のある教職員

1) 職員数が少ないことによる学校運営について

①職員1人当たりの校務負担、行事負担の確認について

郡山東中学校

	校長	教頭	主幹教諭	B	C	D	E	F	G	H
授業			国語	理科	保健体育	技術家庭 特支(国数)	社会	英語 特支(生活)	音楽 特支(英)	英語
クラブ			吹奏楽	バドミントン	バスケット (県専門委員長)	ソフトテニス	陸上競技	バレー (市専門委員)	吹奏楽	陸上競技
校務分掌			学年主任 教務部	教務部長 学年主任 特別支援教育Cd	生徒指導部長 体育主任	学校保健主事 教務部	生徒指導部	給食主任 生徒指導部	教務部(就学援助)	道徳教育推進教師 生徒指導部
			書写教育(県)	特別支援教育	健康教育	特別活動		給食指導 特別支援教育	市人教研究委員	
その他(市・県)										

	I	J	K	L	M	N	O	P	養護教諭
授業	数学	美術	保健体育 技術 特支(英)	社会	国語	数学	理科	英語(小学校) 技術	
クラブ	ソフトテニス	美術	野球	ソフトテニス	バドミントン 美術	バドミントン	バレー	野球	バスケット
校務分掌	教務部	教務部	生徒指導部	学年主任 進路指導主任 教務部	教育研究主任 図書教諭	生徒指導部	人権教育	生徒指導部	SC担当 生徒指導部
	特別活動	※支援	特別支援教育 健康教育		図書館教育 特別活動	安全教育	市人教推進委員 市教研運営委員 メディア教育 統計教育		養護教育
その他(市・県)									


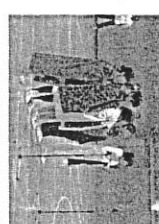
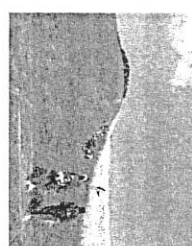
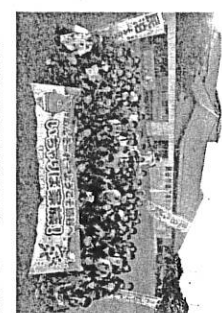
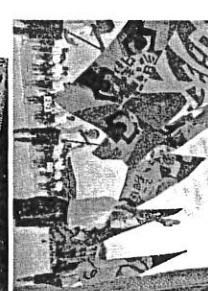
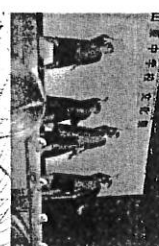
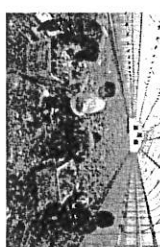
②良い面と悪い面

良い面… 人数が少ないので情報交換(共通理解)がしやすい, 教師も生徒も顔と名前が一致するので一体感がある,

悪い面… 定期テスト作成数が多い, 出張が重なると授業がまわらない(各校1名以上など), 部活動の負担が大きい, 各行事での負担が大きい

③その他

平成30年度 年間行事予定

4月	始業式 6日	
	入学式 10日	
	身体測定 12日	
	対面式 13日	
	全国・県一斉学力テスト 17日	
	部活動初会合 19日	
	授業参観・懇談会・PTA総会 20日	
	家庭訪問 23日～27日	
5月	内科検診 10日	
	1年校外学習(奈良) 18日	
	2年宿泊体験(曾爾) 16・17日	
	3年修学旅行(沖縄) 16～18日	
	1年交通安全教室 21日	
	中間テスト 29・30日	
6月	創立記念日 10日	
	教育相談(ふれあいタイム) 11～22日	
	全校保護者会(地区懇談会)14日	
	芸術鑑賞(サークス) 22日	
	期末テスト 29日	
7月	期末テスト 2・3日	
	三者懇談会 17～19日	
	1学期終業式 20日	
8月	クイズ大会 25日	
9月	2学期始業式 3日	
	PTA高校訪問 12日	
10月	体育大会 4日	
	中間テスト 15・16日	
	学校開放週間 22～26日	
	文化祭・PTAバザー24日	
11月	生徒会役員選挙 5日	
	2年職場体験 14～16日	
	3年三者懇談会 14～16日	
	芸術鑑賞(劇) 19日	
	期末テスト 28・30日	
12月	新入生保護者説明会	
	三者懇談会 18～20日	
	2学期終業式 21日	

1月 3学期始業式 7日

1・2年カルタ大会

1・2年教育相談 1～15日

新入生1日体験入学 20日

3年学年末テスト 22～26日

1・2年学年末テスト27・28日

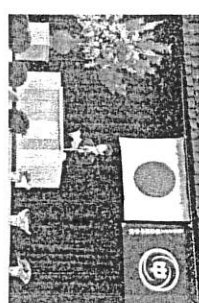
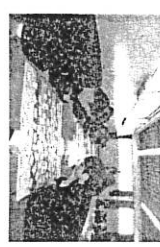
1・2年学年末テスト1日

3年美化作業

3年生を送る会 14日

卒業式 15日

修了式 22日



校章



○外周の楕円は環濠を意味する。

○市の木「黒松」の松葉を三本配し、知育・徳育・体育を表す。

○「バラ」の花の略図を兼ね「バラ」の花言葉である愛情を表し、愛情豊かな人間の育成をめざす。

校歌

一 春日の山に若さす
 希望に燃えて学び舎に
 集う我等はたくましく
 仲ひしに励まし学びあう

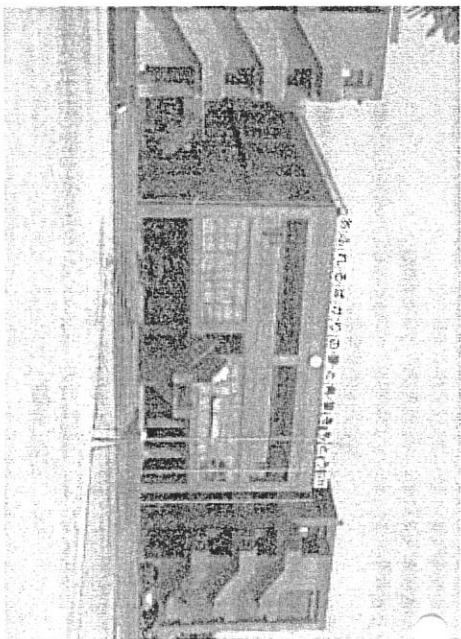
二 佐保の流れの志乃うけ
 若人はげたく学び舎に
 集う我等は意気高く
 たがいに手を取り進めあう

三 翔べよ 郡山東中学校
 よるま歴史のにおう町
 理想と我の学び舎に
 集う我等はすこやかに
 たがいに固く結びあう

進め 郡山東中学校

大和郡山市立
 郡山東中学校

学校要覧



〒 639-1107 大和郡山市若槻町134番地の2
 TEL 0743-52-1021
 FAX 0743-52-1022
 E-mail:k-higashi@deluxe.ocn.ne.jp

学校の沿革

昭和57年 3月19日 大和郡山市立第4中学校建設議案可決
昭和58年 4月1日 郡山中学校(平和小学校区)、郡山南中学校(治道小学校区)の1、2年生を分離し郡山東中学校が新設される。

◇建物の構造 校舎 鉄筋コンクリート造り4階建て
アール 2.5m×8コース
体育館・武道場 鉄筋コンクリート造り2階建て

◇学校総敷地面積 29,200㎡

昭和58年 4月6日 開校式、始業式を挙げる。初代校長 上田圭秀
昭和58年 6月10日 校旗を制定し、創立記念日とする。

昭和61年 11月7日 市教育研究指定校発表(学習指導)を行う。

昭和62年 4月1日 2代目校長 向井止津夫

平成2年 4月1日 3代目校長 西川武雄

平成4年 4月1日 4代目校長 岡本光央

平成6年 4月1日 5代目校長 瓦口充二

平成8年 4月1日 6代目校長 吉村輝彦

平成11年 4月1日 7代目校長 京谷靖彦

平成11年 11月12日 市教育研究指定校発表(特別活動)を行う。

平成14年 4月1日 8代目校長 榊 章

平成18年 4月1日 9代目校長 佐々木義章

平成19年 4月1日 文部科学省・県教委指定「人間としての在り方、生き方」実践研究事業参加

平成20年 4月1日 県教委指定「規範意識を高める法教育」研究実践

平成21年 4月1日 文部科学省・県教委指定「道德教育」実践研究事業参加

平成22年 4月1日 10代目校長 島本知明

平成24年 4月1日 11代目校長 三宅 薫

平成24年 10月26日 創立30周年記念事業

平成24年 11月22日 県道徳教育研究大会授賞公開

平成26年 4月1日 文部科学省「魅力ある学校づくり調査」研究事業参加

平成28年 4月1日 12代目校長 熨斗慎司

平成29年 4月1日 13代目校長 田中 浩

平成30年 4月1日 県教委指定「奈良の子どもの未来を拓く道德教育推進事業」参加

JR郡山駅南東約2.5km、近鉄南井駅北東約2.5kmの田園地帯に立地し、平和小・治道小の高校区からなる、大和郡山市内では最も小規模校な中学校である。学校周辺は田畑に囲まれ、穏やかな環境であったが、近年宅地化・商業化が進み3/4が新興住宅地からの生徒である。また、生徒数の減少も進んでいる。

本校の概要

校 名 大和郡山市立郡山東中学校
創 立 昭和58年 4月 1日開校
校 長 名 田 中 浩
教 職 員 数 24名
生 徒 数 177名

(1年生 275人 57名, 2年生 275人 56名, 3年生 275人 64名, わかば学級 27クラス)

学校経営方針

1. 本校教育の目標
- (1) 学校教育の目標

「翔(しよう)」

「心身ともにたくましく成長し、豊かな人間性を携えて、大きく社会に飛び立つことのできる生徒」

- (2) 教育目標の基本方針

知「確かな学力」

…基礎的・基本的な知識や技能を身につけさせ、主体的に学習に取り組む態度を育て、言語活動など学習の基盤をつくる活動の充実。

徳「豊かな人間性」

…道德教育を基盤として、道德科の時間はもとより教育活動全体をとおして、豊かな心や創造性の涵養をめざした取組の充実。

体「健やかな体」

…心身の健康の保持推進に向けて、健康で安全な生活やスポーツライフ、食育の推進を通じて将来にわたって健康・安全で活力ある生活の充実。

- (3) めざす学校・生徒・教師像

めざす学校像：信頼される魅力ある学校

- ①地域に信頼される学校
- ②花いっぱいできれいな学校
- ③生徒・保護者・教師が強い絆で結ばれる学校

めざす生徒像：「一生懸命がかっこいい」と思える生徒

- ①主体性をもった生徒
 - ②人の気持ちを理解できる生徒
 - ③将来像を描ける生徒
- めざす教師像：生徒を大切にする教師
- ①心でふれあう教師
 - ②学が楽しさを創造する教師
 - ③絶えず研鑽を積む教師

3. 本年度の具体的重点目標

- (1) 基本的な生活習慣から基本的な学習習慣の確立

- ①各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する。
- ②指導法の工夫・改善に取り組み、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- ③少人数授業を実施し、きめ細やかな指導を積極的に取り組む。
- ④学習習慣の確立のために、主体的に取り組み自主学習指導を徹底する。
- ⑤読書活動と図書館利用を推進し、思考力・表現力を育成する。
- ⑥個に応じた指導方法や指導体制を工夫し、学習内容を確実に身につける。
- ⑦個別の学習支援や相談から自分にかかわりやすい学習方法を身につける。
- ⑧市指定研究に向けた調査研究をすすめる。

- (2) 規範意識を高揚し、人格の尊重・個性の伸長を図り、社会的資質や行動力の育成

- ①人権教育を推進し、「いじめ」「差別」を許さない仲間づくりを実施する。
- ②道德教育や道德科の授業実践から社会において自立できる基礎を培う。
- ③「奈良の子どもの未来を拓く道德教育推進事業」を全教師で取り組む。
- ④「規範意識」や「生徒理解」を深め、心のふれあう生徒指導を実施する。
- ⑤主体性のある生徒会活動の取り組み。
- ⑥職業観、勤労観、社会性を育む「キャリア教育」と「体験学習」を実施する。
- ⑦部活動を学校教育の一環としてとらえ、人間関係の構築や自己肯定感を育成する。
- ⑧スクールカウンセラーや関係機関との連携による相談体制を構築する。

- (3) 「魅力ある学校づくり」をめざし、心の通い合う学校、個性の伸長の構築

- ①出前授業等、外部指導者の積極的な活用により魅力ある授業を推進する。
- ②「たくましい心身」と「心の健康」をめざした、学校行事を実施する。
- ③小中一貫を見据えた小中連携を行い、交流を積極的に進める。
- ④学校・保護者・地域との連携により、開かれた学校をめざす。
- ⑤花があふれる、きれいで明るい学校をつくる。

- (4) 安心・安全な教育環境と健康教育の充実推進

- ①施設・設備の安全点検と環境整備に努める。
- ②常に危機管理意識をもち、マニュアルを周知した行動を心がける。
- ③学校・家庭・学校医との連携により健康の保持増進をめざす。
- ④ラウンジルームの運用により、「食育推進」を充実させる。